

VII. 行政サービス・行政機能

1 選挙に関する経費

選挙管理委員会費・県議会議員選挙費・町議会議員選挙費		総務課
<p>選挙管理委員会の運営にかかる費用や、本年度は新潟県議会議員選挙と湯沢町議会議員選挙の2つの選挙の予算を計上しています。</p>		
《主な経費》		《財源》
●選挙管理委員会費	308千円	新潟県の負担額 3,633千円
●県議会議員選挙費		湯沢町の負担額 3,933千円
投票立会人等報酬	809千円	
職員手当	1,640千円	
通信運搬費	523千円	
ポスター掲示板撤去	70千円	
●町議会議員選挙費		
投票立会人等報酬	686千円	
職員手当	1,655千円	
通信運搬費	675千円	
ポスター掲示板設置撤去	1,200千円	
<p>4月10日執行予定でしたが、立候補者が定数内だったため、投票が行われませんでした。</p>		
<p>4月24日に執行され、議員12名が選出されました。</p>		



2 議会に関する経費



議会費	議会事務局
<p>議員の報酬や、議会の運営にかかる予算を計上しています。</p>	
《主な経費》	
議員人件費	69,482千円
海外行政交流	806千円
視察研修	814千円
議会報作成・折込	1,088千円
議事録翻訳	1,185千円
《財源》	
湯沢町の負担額	73,375千円

3 税金の課税に関する経費

賦課費	税務課
町民税や固定資産税などの町税の課税にかかる予算を計上しています。	
《主な経費》	
事務補助賃金	735 千円
消耗品費	1,000 千円
印刷製本費	2,000 千円
通信運搬費	4,039 千円
固定資産評価替・土地鑑定	23,296 千円
システム運用経費	15,488 千円
過誤納還付金	4,800 千円
《財源》	
手数料	560 千円
新潟県の負担額	37,886 千円
弁償金等	47 千円
湯沢町の負担額	12,865 千円


固定資産評価審査委員会費	監査委員事務局
固定資産評価審査委員会は、市町村に置かれる行政委員会であり、その職務は市町村長とは独立した中立的・専門的な立場から固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査及び決定その他の事務を行います。	
《主な経費》	
固定資産評価審査委員会委員報酬	55 千円
消耗品費	2 千円
《財源》	
湯沢町の負担額	57 千円

4 戸籍・住民票等に関する経費

住民基本台帳費	町民課
戸籍・住民票・印鑑証明などの届出、申請の受付や発行事務を行います。	
《主な経費》	
消耗品費	589 千円
システム等運用経費	10,518 千円
《財源》	
手数料	3,475 千円
国の負担額	200 千円
新潟県の負担額	14 千円
湯沢町の負担額	7,418 千円
<p>住民基本台帳ネットワークシステム</p> <p>住民基本台帳ネットワークシステム（住基ネット）は、国、都道府県及び全国の市町村を専用の回線で結び、これまで市区町村が管理していた「氏名」「住所」「生年月日」「性別」の4つの情報を電子的に交換しています。この情報は、許認可事務に必要な本人確認に活用されているほか、住民票を現在住んでいる市区町村以外でも受け取ることができる「広域交付」や転出転入届の簡略化などにも利用されています。希望者は「住民基本台帳カード」を交付します。カードの交付を受けると、転出転入の特例を受けることが出来ます。また、顔写真付きのカードは公的な証明書として使用することが出来ます。</p> <p>カードの交付は申込が必要です。詳しくは町民課町民生活班（784 - 3453）までお問い合わせください。</p> <p>■発行手数料：1件 500円</p>	

VII. 行政サービス・行政機能

民生総務費	町民課
人権に関する予算を計上しています。	
《主な経費》	
旅費	15 千円
負担金・補助金	34 千円
《財源》	
湯沢町の負担額	49 千円



国民年金事務費	町民課
年金に関する予算を計上しています。	
《主な経費》	
旅費等	22 千円
消耗品費	10 千円
システム利用料	63 千円
負担金	6 千円
《財源》	
国の負担額	101 千円



5 統計調査に関する経費


統計調査費	総務課
今年度は、次の4つの調査を行います。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校基本調査 ・ 工業統計調査 ・ 人口移動調査 ・ 経済センサス活動調査 	
《主な経費》	
調査員報酬	704 千円
事務補助賃金	28 千円
消耗品費	120 千円
通信運搬費	10 千円
その他	124 千円
《財源》	
新潟県の負担額	869 千円
湯沢町の負担額	117 千円

6 情報化に関する経費

情報化推進費	総務課
効率的に事務処理を行うため、多くの分野にわたって利用可能な総合行政システムを導入していますが、システムの老朽化に伴い、全面的な入替を実施いたします。	
また、今後も機器の適正な管理に努めるとともに、個人情報への厳格な管理を行います。	
《主な経費》	
通信運搬費	6,566 千円
総合行政システム入替	106,000 千円
システム運用経費	32,228 千円
湯沢町ホームページ保守	944 千円
情報機器購入	2,500 千円
《財源》	
ホームページ広告料	1,500 千円
湯沢町の負担額	146,738 千円

7 労働対策に関する経費

労働対策費	産業観光課
労働に関する予算を計上しています。	
《主な経費》	
職業訓練業務	3,563 千円
▶南魚沼市に委託しています。	
南魚沼職業能力開発運営協会補助金	1,466 千円
《財源》	
湯沢町の負担額	5,029 千円



8 借入金の返済に関する経費

公債費	総務課
町では、道路や施設を整備するときなどに、国や金融機関から「町債」と呼ばれる借入をします。町債は、一度に借り入れる額も高額なことから、長い期間（数年～30年）をかけて返済します。	
また、日々の資金繰りの中で数日というごく短期の借金「一時借入金」をすることもあります。	
《主な経費》	
借入金の元金返済分	84,796 千円
借入金の利子分	17,008 千円
一時借入金利子分	1,000 千円
《財源》	
住宅使用料	9,596 千円
湯沢町の負担額	93,208 千円

9 監査に関する経費

監査委員費	監査委員事務局
監査委員は、公正で効率的な行政を確保するために、地方自治法の規定により設置されている執行機関で、国の会計検査院や会社の監査役にあたる役割を担っています。	
具体的には、町が行っている様々な事業や町が財政援助を行っている団体などの事業が経済的、効率的、効果的に運営されているかどうか、また、財務会計事務が正しく行われているかどうかなどを、町長から独立した立場で監査することが監査委員の職務です。湯沢町においては、2名の監査委員（識見を有する者から選任される委員1名、議員から選任される委員1名）が置かれています。	
《主な経費》	
監査委員報酬	1,135 千円
消耗品費	257 千円
《財源》	
湯沢町の負担額	1,392 千円



10 財産・庁舎管理に関する経費

財産一般管理費	総務課
町が有する財産（土地・建物）管理にかかる費用を計上しています。	
《主な経費》	
町有建物修繕	500 千円
水質検査	987 千円
土地借上料	22,435 千円
湯沢温泉ロープウェイ施設修繕	10,000 千円
地域集会施設建設費補助金	500 千円
町有地貸付補償料	4,880 千円
《財源》	
手数料	111 千円
財産貸付収入	26,664 千円
負担金他	1,523 千円
湯沢町の負担額	11,004 千円

庁舎管理費	総務課
役場庁舎の維持管理にかかる費用を計上しています。	
《主な経費》	
光熱水費	7,169 千円
修繕料	2,000 千円
雪対策費	810 千円
耐震設計	12,000 千円
▷災害時の対応拠点となる役場庁舎の耐震化を図ります。	
設備保守点検	2,112 千円
清掃・警備	7,170 千円
土地借上料	1,809 千円
《財源》	
使用料	1,313 千円
国の負担額	4,000 千円
駐車場協力金	1,400 千円
雑入	150 千円
湯沢町の負担額	26,207 千円

基金管理費	総務課
湯沢町が管理・所有する基金（貯金）に関する費用を計上しています。	
《主な経費》	
公共事業基金地区協議会補助金	550 千円
各種基金利子積立	2,198 千円
▷基金の運用益を元金に積み立てます。	
《財源》	
財産運用収入	2,198 千円
基金取り崩し	550 千円



湯沢こころのふるさと基金

総務課

ふるさと（出身地に限らず、応援したいと思う地域）の県や市町村を「寄付金」という形で応援することができる制度のことです。湯沢町では平成 20 年度から実施しています。平成 22 年度は 11 名の皆様（すべて町外の方）から総額 241 万円の寄付をいただきました。

《主な経費》

消耗品費 50 千円 ▶寄付いただいた方へ記念品をお送りしています。
積立金 500 千円 ▶いただいた寄付を基金（貯金）へ積み立てます。

《財源》

寄付金 500 千円
湯沢町の負担額 50 千円

ご寄付の使い道	22 年度額	累計額
①ふるさと湯沢の自然と景観を守り、これを活かした事業	670,000	1,382,000
②ふるさと湯沢の子どもたちを健やかに育み、高齢者や障がい者にやさしいまちづくり事業	1,530,000	1,710,000
③ふるさと湯沢と都会との交流を進める事業	130,000	290,000
④ふるさと湯沢の文化や伝統等を守り伝承する事業	20,000	120,000
⑤ふるさと湯沢の観光産業等振興事業	30,000	3,360,000
⑥その他町長が必要と認める事業	30,000	570,500
合 計	2,410,000	7,432,500


★皆さまの熱い思いのこもったご寄付へのお礼★

「湯沢こころのふるさと基金」にご寄付をいただきました皆様には、ふるさと湯沢の「こころ」をお送りさせていただきます。

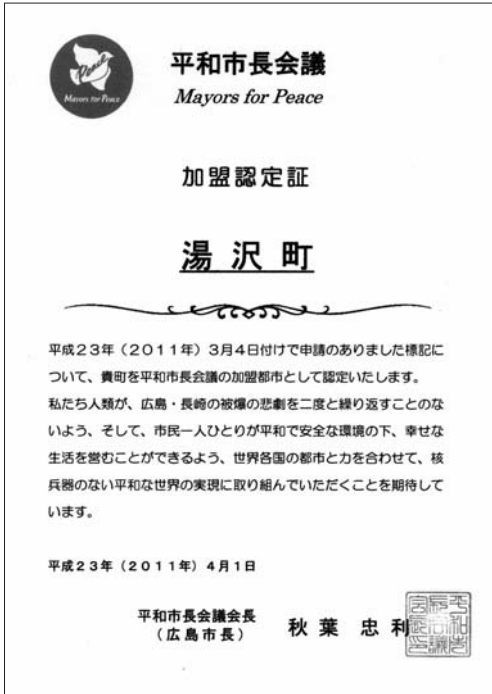
- ・湯沢町の共同浴場共通優待券
- ・周辺施設等利用割引券
- ・湯沢ぐらし、広報ゆざわ、夏・冬観光情報の提供

※ご希望により、ご寄付をいただいた日から定期的に上記情報等の提供をさせていただきます。

11 路線バス運行に関する経費

路線バス運行補助金		総務課
町内間及び町内から町外間を運行する路線バスの運行費用を補助し、生活交通の確保を図ります。		
《主な経費》		
路線バス運行補助金	20,184 千円	
《財源》		
新潟県の負担額	133 千円	
湯沢町の負担額	20,051 千円	
湯沢町を走る路線		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 湯沢～塩沢～六日町 線 ・ 湯沢～三俣～貝掛温泉～浅貝～苗場プリンスホテル 線 ・ 湯沢～中里～土樽～蓬橋 線 ・ 湯沢～小坂～谷後～旭原～大源太 線 ・ 〈急行〉湯沢～清津峡～津南～森宮野原駅 線 		
		

12 非核平和都市宣言記念碑制作

非核平和都市宣言記念碑制作		総務課
湯沢町は平成 22 年 6 月 8 日に「湯沢町非核平和都市宣言」を行いました。全国の皆さまからいただいたふるさと納税の一部を活用し、これを記念した碑を制作します。		
《主な経費》		
記念碑制作	570 千円	
《財源》		
湯沢こころのふるさと基金	570 千円	
<p>また、平成 23 年 4 月 1 日付で「平和市長会議」の一員として認定されました。平和市長会議とは、広島市・長崎市が核兵器廃絶に向けた都市の連帯を呼びかけたことにより設立された組織で、世界 150 か国・地域 4,704 都市の賛同を得ています（日本では 970 都市、新潟県では 24 市町村が加盟）。</p>		
		

発行にあたり

町民の皆さまには日頃からまちづくりにご支援、ご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

今年度より、予算書の内容を分かりやすく伝えることを目的として「湯沢町の予算」を作成しましたのでお届けいたします。この冊子は、町民の皆さまにその年度の当初に定めた予算の内容をお知らせし、町政へのご理解をいただくとともに、町の説明責任を果たす手段のひとつとして作成したものです。本来、町のお金や情報は町民の皆さまのものであり、町はその内容について説明する責任があります。何分初めての試みではありますが、ご一読いただき、予算についての理解を深めていただきたいと思います。

今日、地方分権の推進によって自治体の役割は、益々重要なものとなってきています。湯沢町においては、4月1日に施行された「湯沢町まちづくり基本条例」に基き、町民、議会、関係機関、行政が最良のパートナーとしての関係を築き、協働してまちづくりに携わっていくことで、多様な協働によるまちづくりを推進し、豊かで自立した地域社会の実現を目指していかなければならないと考えております。これからも湯沢町に暮らすことを町民が誇りに思い、町のすばらしさを次の世代へと着実に受け継いでいけるよう、みんなで力を合わせてまちづくりを進めていきましょう。

平成 23 年 5 月

湯沢町長 上村 清隆

湯沢町町民憲章 ～わたしたちのねがい～

美しい自然にまつまれた雪のまち湯沢

きよらかな愛情あふれるまち

すこやかな活力みなぎるまち

さわやかな誰もが訪れたいまち

みんなで力をあわせ豊かで明るく住みよい文化の香り高い町をつくりましょう。

 **湯 沢 町**